

山陽小野田市立山口東京理科大学

地域連携・社会貢献レポート

2019年4月～2020年3月



公立大学法人 山陽小野田市立
山口東京理科大学
Sanyo-Onoda City University

地域連携・社会貢献レポートの刊行にあたって

山陽小野田市立山口東京理科大学
学長 望月 正隆



平素は本学の教育・研究活動に、ご理解とご支援を賜りありがとうございます。
地域連携・社会貢献レポートをお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

山陽小野田市立山口東京理科大学は、「教育・研究と地域貢献が一体化した生涯教育の充実」を基本理念の一つとして掲げ、地域社会と地域産業の振興・発展に寄与する社会貢献活動に取り組んでいます。

特に、公立の高等教育機関として、山陽小野田市内の小学校・中学校を訪問し、児童・生徒の皆さんが見たこともない科学実験を体験していただく「ほんものの科学体験講座」や、学生が小学校・中学校の理科の実験の補助を行う「スクールボランティア」、山口県内の高校生に対する大学での体験学習などを行っています。

また、学生が街なかに出かけるフィールドワークを行い、その結果を統計的に分析することを通じて、地域の課題を明らかにし、解決策を考える取り組みや、市内企業が抱えている技術的課題を、学生がグループで把握・分析し、対策創出・提案を行う取り組みなど、「地域の知を大学の教育に活かす」活動に力を入れています。

学生は、社会貢献活動により、創造力、コミュニケーション能力、リーダーシップなど「人間ならではの技能」を教養として身につけることができます。

全国から集まる学生たちが、緑の中でキラリと光る研究学園都市・山陽小野田市でのさまざまな体験や交流を通して、自分とは異なる多様な価値観や考え方、ものの見方に触れることで、創造力、行動力、意思疎通能力を育むことでしょう。

本地域連携・社会貢献レポートを通じて、皆様に私たちのビジョンやその実現に向けた活動について、温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本学の地域連携・社会貢献の取り組み

山陽小野田市立山口東京理科大学は、地方都市における落ち着いた教育環境のもと、学校法人東京理科大学との姉妹校関係を維持強化しつつ、薬工系の基礎的知識と専門的な学術を教育・研究するとともに、地域に根差し、地域社会の発展に寄与する「地域のキーパーソン」の育成に貢献することを目的としています。

また、教育及び研究とともに、地域創生における「知のローカル・ハブ」という役割を果たし、地域社会と地域産業の振興・発展に寄与する社会貢献機能を備えた個性ある大学となることを基本姿勢としています。

本学の地域連携・社会貢献の取り組みは、設立母体である山陽小野田市から提示された中期目標のうち「地域社会との連携、地域貢献に関する目標」の達成に向け、本学が2016年4月1日から2022年3月31日までの6年間に実施する「地域社会との連携、地域貢献に関する中期計画」に基づいて行われています。

本レポートでは、本学が中期計画に基づき、2019年度に行いました地域連携・社会貢献の取り組みの一部をご紹介します。

<地域社会との連携、地域貢献に関する中期計画>

1. 地域コミュニティの中核的存在としての拠点化

- (1) 地域連携センターの生涯学習部門及び地域連携室を中心に地域社会との連携や地域貢献活動を推進強化します。
- (2) 講演会、研修会、教育・教養講座及び中高教員向教育等を計画、実施します。
- (3) 地域の技術力向上の支援（技術相談、企業教育支援、専門家派遣、人材の供給等）を行います。
- (4) 学生向けの地域教育の推進及び地域活動の支援（大学施設・設備の提供、教員知識の活用等）を行います。
- (5) 地元小中高への出前授業や実験体験、市民への大学開放を実施します。

2. 産業界との連携

- (1) 大学の技術シーズと企業の技術ニーズのマッチングを図り、支援する仕組みを構築します。
- (2) 研究連携、シンポジウム、セミナー及び研究成果の活用促進等大学の外に向けた活動を活性化します。

3. 政策形成等に貢献するシンクタンク機能の発揮

- (1) 地域の課題に対して積極的に市や商工会議所の委員会、審議会に参加します。

4. 学生の地元定着

- (1) 入学者に占める県内学生割合の向上
入学者選抜の適正な実施に留意しつつ、入学者に占める県内出身者の割合を高めていきます。
- (2) 県内就職割合の向上
大学を卒業し、県内に就職する者の割合を高めていきます。

目 次

社会貢献レポートの刊行にあたって	1
本学の地域連携・地域貢献の取り組み	2
1. 市民への貢献	
(1) かがく博覧会	6
(2) 大学開放授業	7
(3) サイエンス・カフェ	7
(4) 山口県大学ミュージアム・ライブラリー連携特別展	8
(5) 図書館の開放	8
(6) 運動施設・教育施設の開放	9
(7) ビブリオバトル	9
(8) 健康で長生きのまちづくりフォーラム	10
(9) 地域に関する教育研究成果の展示	10
(10) 薬草による健康づくり講座	11
(11) 生薬学・漢方分野公開講座	11
2. 小学校・中学校への貢献	
(1) ほんものの科学体験講座	12
(2) 小学生が学ぶジェネリック医薬品教室	13
(3) 小学生くすりの正しい飲み方体験学習	14
(4) スクールボランティア	14
(5) 市内小・中学校児童生徒科学研究発表会	14
(6) 中学生による職場体験	15
(7) 夏休み科学作品に対する学長賞の授与	15
(8) 夏休みジュニア科学教室	16
3. 高等学校への貢献	
(1) 理科教員のためのリカレントセミナー	16
(2) 小野田高校でのお薬教室	17
(3) P T A大学見学会	17
(4) 高校生体験学習・出前講義	18
4. 産業界への貢献	
(1) 研究・技術公開	20
(2) 技術相談会	20
(3) 大学リーグやまぐちシーズ発表会	21
(4) イノベーション・ジャパン 2019	21
(5) 研究機器の開放	22
(6) 研究シーズ集の発刊	22
(7) 商工会議所会報による研究紹介	23
(8) 産学官連携セミナー	23
(9) お試しサテライトオフィス in やまぐち	24
(10) 山口県技術紹介・展示説明会 IN マツダ	24

5. 地域団体への貢献	
(1) 高泊公民館による大学見学	25
(2) 市民団体による大学見学	25
(3) 公民館等による薬用植物園見学	26
(4) 防府市青少年科学館サイエンスアカデミー	26
(5) 第10回SOS健康フェスタ	26
6. 学生による地域貢献	
(1) キャンパスクリーンキャンペーン	27
(2) 海岸清掃エコツアー	27
(3) 西部ふれあい祭り	28
(4) All Tea Garden 部による「かたつむりカフェ」	28
(5) 図書館フェスティバル	29
(6) 竜王祭	29
(7) ボードゲーム部と薬用植物愛好会による「スマイルキッズ活動」	30
(8) 住吉まつりでの「龍舞」披露	30
7. 地域の知を教育に生かす取り組み	
(1) 地域卒業研究	31
(2) リーダーシップ論	31
(3) 地域技術学	32
(4) 地域産業論	32
(5) 地域社会学	33
(6) 市内企業インターンシップ	33
(7) 市内県内企業見学	34
(8) 県内企業インターンシップ	35
(9) ボランティア活動	36
(10) 食育セミナー	36
(11) 行政薬剤師体験実習	37
(12) 県内製薬企業見学会	37
(13) 学術と地域文化	38
8. 地方公共団体への貢献	
(1) 市長と留学生によるスマイルランチトーク	39
(2) スマイルシティ1日市長大学見学会視察	39
(3) 山陽小野田市長による特別講義	40
(4) 市立図書館との相互利用	40
(5) 図書館フェスティバル	41
(6) 江汐公園にある薬学部附属薬用植物園を活用	41
(7) 各種委員の応嘱（行政関係）	42
(8) 住まいる奨励金	45

9. 警察署・消防署との連携	
(1) 学生消防団員	45
(2) 交通安全ガイダンス	45
(3) 交通安全講習会・薬物防止講習会	46
(4) 防災訓練	46
10. その他の取り組み	
(1) 各種委員の応嘱（行政関係以外）	47
(2) 非常勤講師・役員の応嘱（行政関係以外）	50
(3) 山口県病院薬剤師会との連携協定締結	51
(4) 宇部興産株式会社と包括的連携基本合意書を締結	52
11. 地域からの入学	
(1) 地域推薦入試	53
(2) 入学者に占める山口県出身者（学部）	53
12. 地域への人材輩出	54
13. 地域への経済波及効果	54
14. 市内人口の約 49 人に 1 人が理科大生	54

1. 市民への貢献

(1) かがく博覧会

開催日：2019年9月28日（土）・29日（日）

場 所：おのだサンパーク

主 催：山陽小野田市・山陽小野田市立山口東京理科大学連携協議会

内 容：かがく博覧会は、山陽小野田市・山陽小野田市立山口東京理科大学連携協議会が開催しているもので、市内の小・中学生の科学作品の展示や、市内の高校、大学、企業による実験ブースなどを出展し、科学を学ぶ楽しさや驚き、感動を体験するイベントです。2019年度は10周年記念企画として海老谷浩氏（米村でんじろうサイエンスプロダクション）を講師に迎えた「えびちゃんのわくわくサイエンスショー」を開催しました。両日で約4,800名の方が来場しました。本学からは6ブースが出展し、それぞれのブースで個性あふれる実験等が行われました。



実験テーマ	担当者	所属
小型レーシングカーに乗ってみよう	貴島孝雄教授 学生スタッフ3名	工学部機械工学科
低温の世界を体験してみよう！	金田和博教授 浅野比教授 学生スタッフ3名	共通教育センター
人体の科学と薬剤師体験	坂井久美子講師 学生スタッフ3名	薬学部薬学科
理科大のお兄さんたちと遊ぼう	HMS (Hand Made Science) 3名（代表：松崎幸昂）	HMS（学生サークル）
進化した砂遊びを体験しよう	山本眞也講師、 学生スタッフ3名	工学部電気工学科
スライムを作ろう	北條信教授 森崇理助教 学生スタッフ3名	工学部応用化学科



(2) 大学開放授業

開催日：2019年4月～2020年3月

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

主 催：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：大学の学生が受けている授業の一部を地域の皆様へ公開しました。2019年度は前期13講座、後期13講座開講し、延べ10名が受講しました。受講を終了した方には修了証が授与されました。

(3) サイエンス・カフェ

山陽小野田市立中央図書館を会場に、本学の教員が生活に身近な科学や技術を紹介しました。2019年度の開催状況は次のとおりです。

第27回	2019年5月25日(土)(10名) 「未利用熱から電気をつくる技術：熱電発電」 工学部電気工学科 阿武 宏明 教授
第28回	2019年6月15日(土)(14名) 「細胞も薬？免疫で病を制御」 薬学部薬学科 篠原 久明 教授
第29回	2019年8月24日(土)(17名) 「世界一の材料開発への道のり」 工学部応用化学科 石川 敏弘 教授
第30回	2019年10月26日(土)(9名) 「Mass Actionでシンプルモデル～化学物質から生態系まで～」 薬学部薬学科 広井 賀子 教授
第31回	2019年12月28日(土)(16名) 「光・電波のふしぎ～身近な現象から最先端技術まで～」 共通教育センター 笠置 映寛 准教授



(4) 山口県大学ミュージアム・ライブラリー連携特別展

開催日：2019年11月5日（火）～12月27日（金）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学図書館本館

内 容：「はじまる—Begin—はじめる」を共通テーマに、山口県内の13大学17の博物館・図書館が参加した「山口県大学ミュージアム・ライブラリー連携特別展」を実施しました。本学の展示コーナーでは、「山口での理科大の始まり」と題して、山口東京理科大学開学当時の学内刊行物やアルバム、教科書等の展示、また、コンピュータ実習の始まりとして、記録媒体の変遷についての展示、N88-ASIC（エミュレータ）の実演展示を行いました。



(5) 図書館の開放

図書館を市民の皆様には開放しています。2019年度の地域の方による図書館入館状況は次のとおりです。

施設	入館件数
図書館本館	370件
図書館別館	—

※2019年度、別館は一般開放していない。

(6) 運動施設・教育施設の開放

体育館、テニスコート、グラウンドなどの運動施設と、教育施設を地域の皆様に開放しています。学外者も安全に施設を利用できるように、テニスコートとグラウンドの新設工事を行うため、2019年度は体育館と教室を地域に開放しました。2019年度の施設利用状況は次のとおりです。

施設	利用件数
体育館	13件
教室	12件

(7) ビブリオバトル

開催日：2019年9月28日（土）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学図書館本館

内 容：「ビブリオバトル」とは、参戦者（本の紹介者）が「読んでおもしろい」と思った本について発表し、すべての発表が終わった後、参加者全員（参戦者・観戦者）で「どの本がいちばん読みたくなったか」を基準に投票しチャンス本を決めるイベントです。

今回は、参戦者8名、観戦者7名の総勢15名にご参加いただきました。

くじ引きで発表の順番を決め、第1部・第2部の2回に分けて、4名ずつ発表を行いました。

それぞれが持ち寄った本について熱心な紹介があった後、活発な質疑応答が行われ、本の魅力を掘り下げていくとともに、会場は大いに盛り上がりました。



(8) 健康で長生きのまちづくりフォーラム ～ スマイルエイジング in 山陽小野田 ～

開催日：2019年11月30日（土）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

講 演：「腸内フローラの秘密～はじめよう！スマイル腸活生活～」

医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチン・アジュバント研究センター
センター長 國澤 純

パネルディスカッション：「腸から考えるスマイルエイジング」

医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチン・アジュバント研究センター
センター長 國澤 純

山陽小野田市立山口東京理科大学 薬学部長 武田 健

山口ヤクルト販売株式会社 管理栄養士 堀川 千絵美

主 催：山陽小野田市

内 容：山陽小野田市の市民に健康づくりについて考え、その改善に向けて何ができるかを考える機会を提供する取組みについて、本学が共催として参画。講演やパネルディスカッションを実施し、約140名の方が参加しました。

(9) 地域に関する教育研究成果の展示

開催日：2019年3月29日（金）～2019年6月28日（金）

場 所：山陽小野田市立中央図書館、山陽総合事務所、山陽小野田市役所

内 容：市民の皆様には本学の地域関連教育へのご理解とご関心を深めていただくため、2018年度に学生が取り組んだ「地域技術学」や「地域に関する卒業研究テーマ」の一部を展示公開しました。



(10) 薬草による健康づくり講座

開催日：2019年5月25日（土）～2020年1月25日（土）

主 催：総合型地域スポーツクラブ「すげえちゃ・高泊」

後 援：(公財) 山口県体育協会・生涯スポーツ推進センター、山陽小野田市

場 所：江汐公園、高泊公民館、山陽小野田市立山口東京理科大学

担 当：薬学部薬学科 嶋本顕 教授

内 容：本学は共催として参画し、薬用植物をキーワードにアクティブに学ぶ全10回の講座を開催しました。薬学部薬学科 武田健教授、田中宏幸教授、共通教育センター 大庭尚子講師が講師を務め、各回約30名の方が参加されました。

(11) 生薬学・漢方分野公開講座

開催日：2019年11月9日（土）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

担 当：薬学部薬学科 田中宏幸 教授

内 容：「秋の薬用植物について」と題して開講し、25名の山陽小野田市民の方々が参加されました。

2. 小学校・中学校への貢献

(1) ほんものの科学体験講座

山陽小野田市教育委員会と本学が協力して実施する「ほんものの科学体験講座」は、本学がもつ人的・物的資源を活用し、小学校・中学校では普段実施できない科学実験を体験できる貴重な機会を提供するものです。受講対象者は、小学校高学年以上（5・6年生）、中学校全学年としており、体験を希望する小・中学校が、希望する講座を選択し受講します。2019年度は、22回開催し、延べ946人が受講しました。

学校名	講座名	担当者	開催日
高千帆中学校	電気回路を使って薬や身近なものの性質を知ろう	薬学部薬学科 堀口道子 講師 薬学部薬学科 鶴留優也 助教	2019年7月10日(水)
			2019年7月11日(木)
			2019年7月12日(金)
高泊小学校	真空ショー	工学部電気工学科 大嶋伸明 講師	2019年7月11日(木)
本山小学校	低温の世界	共通教育センター 浅野比 准教授	2019年7月16日(火)
本山小学校	真空ショー	工学部電気工学科 大嶋伸明 講師	2019年9月5日(木)
高千帆小学校	低温の世界	共通教育センター 金田和博 教授	2019年9月17日(火)
赤崎小学校	低温の世界	共通教育センター 金田和博 教授	2019年9月18日(水)
須恵小学校	ドライアイス(二酸化炭素)の性質	工学部応用化学科 佐伯政俊 講師	2019年9月27日(金)
厚狭小学校	ドライアイス(二酸化炭素)の性質	工学部応用化学科 星肇 教授	2019年10月3日(木)
		工学部応用化学科 大谷優太 助教	
厚陽小学校	低温の世界	共通教育センター 浅野比 准教授	2019年11月12日(火)
有帆小学校	薬を作ってみよう!	薬学部薬学科 牛島健太郎 教授 薬学部薬学科 堀口道子 講師 薬学部薬学科 鶴留優也 助教	2019年10月25日(金)
有帆小学校	電気と磁気の摩訶不思議な関係	工学部電気工学科 穂本光弘 講師	2019年11月18日(月)
埴生小学校	真空ショー	工学部電気工学科 山本真也 講師	2019年11月20日(水)
埴生小学校	低温の世界	共通教育センター 浅野比 准教授	2019年11月28日(木)
津布田小学校	薬を作ってみよう!	薬学部薬学科 牛島健太郎 教授 薬学部薬学科 堀口道子 講師 薬学部薬学科 鶴留優也 助教	2019年11月29日(金)
埴生中学校	光を作ってみよう!	薬学部薬学科 和田光弘 教授 薬学部薬学科 武藤純平 准教授 薬学部薬学科 高田誠 助教	2019年12月5日(木)
小野田小学校	低温の世界	共通教育センター 浅野比 准教授	2019年12月11日(水)
厚陽小学校	ドライアイス(二酸化炭素)の性質	工学部応用化学科 太田雄大 准教授	2019年12月12日(木)
出合小学校	低温の世界	共通教育センター 金田和博 教授	2019年12月13日(金)
竜王中学校	薬を作ってみよう!	薬学部薬学科 牛島健太郎 教授 薬学部薬学科 堀口道子 講師 薬学部薬学科 鶴留優也 助教	2019年12月17日(火)
小野田小学校	真空ショー	工学部電気工学科 森田廣 教授	2019年12月18日(水)
赤崎小学校	ドライアイス(二酸化炭素)の性質	工学部応用化学科 井口眞 教授	2020年1月10日(金)
厚狭小学校	薬を作ってみよう!	薬学部薬学科 牛島健太郎 教授 薬学部薬学科 堀口道子 講師 薬学部薬学科 鶴留優也 助教	2020年1月30日(木)



(2) 小学生が学ぶジェネリック医薬品教室

開催日：2019年12月7日（土）

主 催：宇部・山陽小野田・美祢地域ジェネリック医薬品安心使用促進連絡会議

後 援：特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（J-D0）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

担当者：薬学部薬学科 和田光弘 教授

薬学部薬学科 武藤純平 准教授

薬学部薬学科 高田 誠 助教

内 容：本学薬学部にて、薬を上手に使う～小学生が学ぶジェネリック医薬品のそうなんだ！～を開催しました。薬学部学生もサポートとして参加し、「くすり」を安全に安心して使っていくために大事なことや、今話題のジェネリック医薬品について学びました。宇部・山陽小野田・美祢地域から小学生38名とその保護者の方々が参加されました。



(3) 小学生くすりの正しい飲み方体験学習

主 催：一般社団法人山陽小野田薬剤師会
山陽小野田市立山口東京理科大学

共 催：特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構(J-D0)

担当者：薬学部薬学科 和田光弘 教授
薬学部薬学科 武藤純平 准教授
薬学部薬学科 高田誠 助教

内 容：小学 5 年生を対象に「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合
う～体験学習～」を開催しました。薬学部学生のボランティアによるクイズや
実験により、医薬品を安全・有効に使用するために、正しく服用することの意義
を楽しみながら学びました。

開催日	学校名	参加者
2019年9月27日(金)	小野田小学校	42名
2020年2月7日(金)	高千帆小学校	105名

(4) スクールボランティア

将来、中学校・高等学校の理科の教員を目指す学生たちにより結成した教育研究サー
クルの学生たちが、ボランティアにより山陽小野田市内の小学校・中学校を訪問し、理
科の授業の準備や片付け、実験の補助、個別指導の支援を行いました。

期 間：2019年4月1日～2020年3月31日

場 所：市立赤崎小学校 (毎週火、水、金、体育祭・学習発表会補助等) 3人訪問
市立本山小学校 (毎週金、体育祭・学習発表会補助等) 3人訪問
市立須恵小学校 (毎週金、体育祭・学習発表会補助等) 4人訪問
市立高千帆小学校 (毎週木) 1人訪問
市立竜王中学校 (夏期講習の学習補助) 3人訪問
市立小野田中学校 (テスト期間中の学習補助) 3人訪問

顧 問：共通教育センター 吉村高男 教授

(5) 市内小・中学校児童生徒科学研究発表会

山陽小野田市の小・中学生が夏休みの自由研究の成果を発表する発表会に、本学の教
員が講師として参加し、講評を行いました。

開催日：2019年9月30日(月)

場 所：山陽小野田市立厚狭小学校

講 師：共通教育センター 金田和博 教授

(6) 中学生による職場体験

開催日：2019年11月6日（水）、7日（木）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学図書館本館

内 容：山陽小野田市立高千帆中学校の生徒が、本学図書館で職場体験を行いました。はじめに、橋本館長を交えて自己紹介後、学長室を訪ねました。学長の「どうして本を読むのか」「体全体を使って勉強しよう」という話に一生懸命耳を傾けていました。次に、図書館の仕事の概要や請求記号について学び、図書の配架や装備、カウンター業務に従事。実習の締めくくりには「秋のおすすめBOOK」と題した企画展示コーナーの作成をしました。利用者のために一生懸命に業務に取り組む様子が見られ、「図書館にどんな仕事があるのか分かった。」「いろんな人と接することができて楽しかった。」という感想をいただきました。



(7) 夏休み科学作品に対する学長賞の授与

開催日：2019年9月29日（日）

場 所：おのだサンパーク

内 容：山陽小野田市内小・中学生の夏休み科学作品約200点を学長が1点1点審査し、学長賞を授与しました。



(8) 夏休みジュニア科学教室

開催日：2019年7月25日（木）

主 催：夏休みジュニア科学教室実行委員会（公益財団法人やまぐち産業振興財団）

協 力：山陽小野田市立山口東京理科大学 他

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

講 師：「コマづくりに挑戦！！」

共通教育センター 内田陽三 教授

内 容：山口県内の小学生・中学生を対象に、科学の面白さを知ってもらうための、地域の大学と企業等の17団体が協力して行う科学教室です。本学でも開催され、約20名の小中学生の皆さんに楽しい科学実験を体験していただきました。



3. 高等学校への貢献

(1) 理科教員のためのリカレントセミナー

開催日：2019年12月26日（木）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：中学校・高等学校の理科教員を対象に開催し、学校教育の現場に貢献する研修プログラムを提供しています。2019年度は「物理学」をテーマに、講義と実験を行い、学校理科教育と大学における教育・研究の違いなどを体感いただきました。10名の教員の方にご参加いただきました。

講 師：講義「最近の物理学的自然観と金子みすゞの詩」

共通教育センター 吉村 高男 教授

実験「ICTを活用した理科実験 ―物理分野の活用例―」

共通教育センター 内田 陽三 教授

(2) 小野田高校でのお薬教室

開催日：2019年12月3日（火）

場 所：山口県立小野田高校

担 当：薬学部薬学科 黒川陽介 教授

内 容：小野田高等学校保健委員の生徒を対象に「お薬教室」を実施いたしました。

(3) P T A大学見学会

開催日：2019年10月10日（木）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：山口県立下関中等教育学校P T Aによる大学見学会を開催しました。当日は33名のP T A(引率教員含む)が来学し、大学の概要説明を行ったのちに、キャンパス見学、研究室見学を行いました。



開催日：2019年11月19日（火）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：山口県立厚狭高等学校P T Aによる大学見学会を開催しました。当日は15名のP T A(引率教員含む)が来学し、大学の概要説明を行ったのちに、キャンパス見学を行いました。



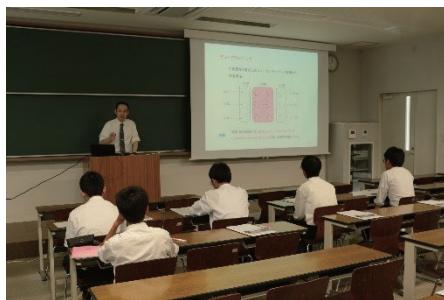
(4) 高校生体験学習・出前講義

高校生を対象に、本学の実験実習施設を利用する「高校生体験学習」と本学教員が高校に出向く出前講義を行いました。

2019年度の高校生体験学習の実施状況は次のとおりです。

	実施日	高等学校	担当教員
体験学習	2019年6月5日(水)	山口県立豊浦高等学校	工学部機械工学科 池田毅 准教授 工学部電気工学科 穂本光弘 講師 工学部応用化学科 池上啓太 准教授 薬学部薬学科 田村雅史 講師
	2019年6月6日(木)	山口県立光高等学校	工学部電気工学科 井上啓 教授 薬学部薬学科 松永浩文 教授
	2019年7月12日(金)	広島県立高陽高等学校	工学部機械工学科 貴島孝雄 教授 工学部電気工学科 阿武宏明 教授 工学部応用化学科 太田雄大 准教授
	2019年8月22日(木)	山口県立宇部高等学校	工学部電気工学科 井上啓 教授 薬学部薬学科 嶋本頤 教授
	2019年8月23日(金)	山口県立山口高等学校	薬学部薬学科 緒方浩二 教授 工学部機械工学科 吉田和司 教授 工学部電気工学科 阿武宏明 教授 工学部電気工学科 岡本和也 助教 工学部応用化学科 白石幸英 教授 薬学部薬学科 広井賀子 教授 薬学部薬学科 牛島健太郎 教授
	2019年8月29日(木)	山口県私立慶進高等学校	薬学部薬学科 田村雅史 講師 薬学部薬学科 安山卓郎 助教
	2019年9月9日(月)	山口県立下関南高等学校	薬学部薬学科 松永浩文 教授 薬学部薬学科 田村雅史 講師 薬学部薬学科 安山卓郎 助教
	2019年9月17日(火)	山口県私立宇部フロンティア大学付属香川高等学校	工学部応用化学科 岩館寛大 准教授 薬学部薬学科 和田光弘 教授
	2019年10月18日(金)	山口県立山口中央高等学校	薬学部薬学科 井上幸江 教授
	2019年10月23日(水)	山口県立小野田高等学校	薬学部薬学科 松永浩文 教授
	2019年10月31日(木)	福岡県立若松高等学校	工学部機械工学科 永田寅臣 教授
	2019年11月26日(火)	大阪市立都島工業高等学校	工学部応用化学科 池上啓太 准教授
	2019年12月10日(火)	山口県私立誠英高等学校	共通教育センター 金田和博 教授
	2019年12月18日(水)	山口県立小野田工業高等学校	工学部機械工学科 貴島孝雄 教授 工学部機械工学科 永田寅臣 教授 工学部機械工学科 池田毅 准教授





2019年度の出前講義の実施状況は次のとおりです。

	実施日	高等学校	担当教員
出前講義	2019年6月18日(火)	山口県立小野田高等学校	薬学部薬学科 松永浩文 教授
	2019年6月18日(火)	山口県立新南陽高等学校	工学部応用化学科 北條信 教授
	2019年7月10日(水)	山口県立熊毛南高等学校	工学部応用化学科 井口眞 教授 薬学部薬学科 坂井久美子 講師
	2019年7月10日(水)	山口県私立宇部フロンティア大学附属香川高等学校	薬学部薬学科 松永浩文 教授
	2019年9月12日(木)	山口県立高森高等学校	薬学部薬学科 田村雅史 講師
	2019年9月12日(木)	福岡県立小倉東高等学校	薬学部薬学科 嶋本頭 教授
	2019年9月24日(火)	山口県立厚狭高等学校	工学部応用化学科 橋本慎二 教授
	2019年9月25日(水)	鹿児島県立伊集院高等学校	薬学部薬学科 伊豫田拓也 准教授
	2019年10月3日(水)	山口県立光丘高等学校	工学部機械工学科 吉村敏彦 教授
	2019年10月11日(金)	熊本県立宇土中学校・宇土高等学校	共通教育センター 亀田真澄 准教授
	2019年10月18日(金)	山口県立下関西高等学校	薬学部薬学科 松永浩文 教授
	2019年10月24日(木)	山口県立光高等学校	工学部電気工学科 阿武宏明 教授 工学部機械工学科 大塚章正 准教授
	2019年10月24日(木)	福岡県立北筑高等学校	共通教育センター 笠置映寛 准教授
	2019年10月29日(火)	山口県立萩高等学校	薬学部薬学科 和田光弘 教授
	2019年10月30日(水)	山口県立下関中等教育学校	工学部応用化学科 北條信 教授
	2019年11月8日(金)	鹿児島県立甲南高等学校	薬学部薬学科 松永浩文 教授
	2019年11月12日(火)	山口県立下関中等教育学校	薬学部薬学科 田村雅史 講師
	2019年11月14日(木)	山口県立長府高等学校	工学部機械工学科 池田毅 准教授 薬学部薬学科 松永浩文 教授
	2019年11月14日(木)	山口県私立早鞆高等学校	工学部機械工学科 大塚章正 准教授
	2019年11月18日(月)	山口県立防府高等学校	薬学部薬学科 松永浩文 教授
2019年11月20日(水)	山口県立下関南高等学校	薬学部薬学科 松永浩文 教授	
2019年12月4日(水)	山口県立宇部工業高等学校	工学部応用化学科 佐伯政俊 講師	
2019年12月19日(木)	山口県立小野田高等学校	共通教育センター 金田和博 教授	

4. 産業界への貢献

(1) 研究・技術公開

開催日：2019年12月12日（木）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

主 催：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：大学の研究成果を知的資源として還元し、地域産業の発展に寄与することを目的としたイベントです。はじめに、森田廣学長から本学は産学連携の窓を広く開けて、産学連携に取り組んで行きたいとの挨拶に続き、「モノづくりにおける熱制御・流動制御とCAEの重要性：工学部 機械工学科 結城和久教授」「CO₂吸着回収機能と化学変換機能を合わせ持つ新規CO₂固定化技術の開発：工学部 応用化学科 池上啓太准教授」「薬用植物の育種技術：薬学部 薬学科 田中宏幸教授」の3件の技術紹介を行いました。また、研究室見学ツアーも実施し、「工学部 電気工学科 森田研究室、及び合田研究室」「薬学部 薬学科 松永研究室」「研究機器センター」の3か所を回り、担当教員が研究内容等を説明しました。当日は38名の参加があり、参加者からは多くの質問が出て、教員が丁寧に回答する場面が見られました。



(2) 技術相談会

開催日：2019年12月12日（木）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

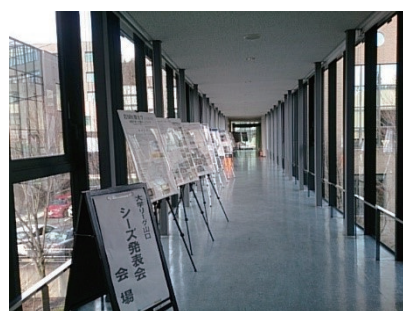
主 催：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：研究・技術公開と同時開催で、地元企業及び地域産業界のニーズとのマッチングを行う技術相談会を開催しました。事前にお問い合わせいただいた地元企業の方が産学連携の共同研究の相談に訪れていました。

(3) 大学リーグやまぐちシーズ発表会

県内大学と地域企業との連携促進を目的として、「大学リーグやまぐち」によるシーズ発表会が開催されました。本学からも産学連携の取組事例を紹介するブースを出展いたしました。

回数	開催日	会場
第1回	2019年10月19日(土)	維新百年記念公園 (Jobフェア同時開催)
第2回	2020年2月13日(木)	山口県立大学 (PBL報告会同時開催)



(4) イノベーション・ジャパン 2019

開催日：2019年8月29日(木)・30日(金)

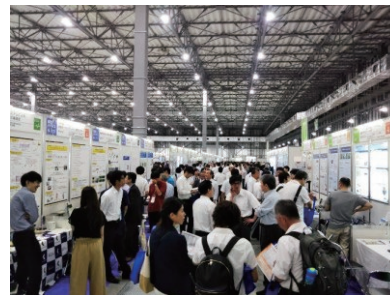
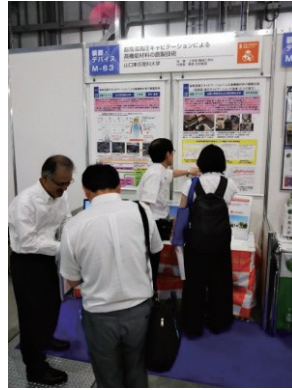
場 所：東京ビッグサイト 青海展示棟

担 当：工学部機械工学科 吉村敏彦 教授

内 容：「イノベーション・ジャパン 2019～大学見本市&ビジネスマッチング～」に出展し、吉村敏彦教授（工学部機械工学科）の技術を紹介しました。

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）と国立研究開発法人新エネルギー・産業総合開発機構（NEDO）が主催する本イベントでは、大学等から創出された研究結果の技術移転を促進するもので、主催者の審査を経た 500 を超えるテーマが展示・発表されました。

吉村敏彦教授は「超高温高圧キャビテーションによる高機能材料の創製技術」をテーマに、新たに開発した超音波キャビテーションの表面処理によって合金鋼の耐食性を向上させる技術や触媒となる金属粉末を微細化する技術を紹介し、ブースには2日間で約150名の来場者にお立ち寄りいただきました。



(5) 研究機器の開放

研究機器センターに設置している大型の測定装置、分析装置を企業に開放しています。2019年度の企業等の利用状況は次のとおりです。

利用企業数	利用回数
2社	2回

(6) 研究シーズ集の発刊

地域が抱える課題解決のヒントや企業の新規事業創出の一助になることを願い「研究シーズ集」を制作し、市内外の関係機関に配付しています。また、同じ内容は本学WEBサイトに掲載しています。

<研究シーズ集 URL>

<http://www.socu.ac.jp/laboratory/regional-collaboration/seeds.html>

(7) 商工会議所会報による研究紹介

地元企業の皆様に、本学の研究技術を知っていただく機会の一つとして、小野田商工会議所、山陽商工会議所の会報に、毎月本学の研究技術を紹介する記事を連載させていただきました。2019年度に掲載した内容は次のとおりです。

テーマ	担当教員
二酸化炭素を回収し、有効利用する技術の開発	工学部応用化学科 池上啓太 准教授
天然物に含まれる有効成分の精製と解析	工学部応用化学科 岩館寛大 准教授
産業利用をめざしたタンパク質集合体の形成を制御するペプチド	工学部応用化学科 佐伯政俊 講師
電磁環境を支える粒子分散型複合材料	共通教育センター 笠置映寛 准教授
地球温暖化に強い社会貢献づくりに向けたニーズの掘り起こし	共通教育センター 中村 洋 講師
授業で用いるワークシート『ESSENCE』 他	共通教育センター 黒飛紀美 講師

(8) 産学官連携セミナー「ドローンを活用した大学との連携について」

開催日：2019年12月25日（水）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

講 演：「産業応用ドローン技術の開発」

工学部 電気工学科 吉岡 健 教授

主 催：山陽小野田市産学官連携推進協議会

内 容：企業を対象にドローンに関する研究内容や活用方法を知っていただく機会を提供するため、本学の教員による研究内容の紹介や、市内ドローン事業者によるデモンストレーション、体験会が行われました。



(9) お試しサテライトオフィス in やまぐち

開催日：2019年8月5日（月）

主 催：やまぐちITサテライトオフィスサポートセンター（山口県企業立地推進課）

内容：山口県では、首都圏のIT企業の方々に、自然豊かな環境での暮らしや仕事をお試しいただく体験ツアー「お試しサテライトオフィス in やまぐち」が用意されています。訪問先のひとつとして、ツアー参加者5社8名の方々が本学を視察されました。本学の特徴的な教育・研究体制や学生の就職・資格取得状況等をご紹介した後、研究の現場として工学部機械工学科永田研究室を見学されました。



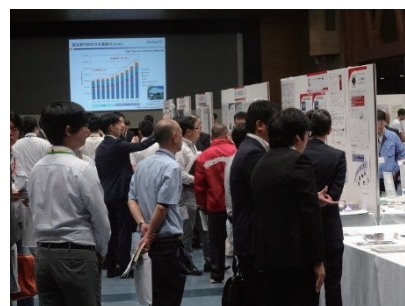
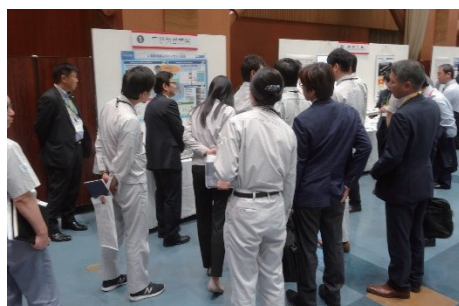
(10) 山口県技術紹介・展示説明会 IN マツダ

開催日：2019年10月17日（木）

主 催：山口県自動車産業イノベーション推進会議（山口県産業戦略部）

場 所：マツダ株式会社

内 容：山口県内の企業や大学等19社が自動車関連技術に関するブースを出展する展示説明会が開催されました。本学からは「超高温高圧キャビテーションによる自動車用部品の高機能化」と題し、工学部機械工学科吉村敏彦教授の研究内容を紹介しました。



5. 地域団体への貢献

(1) 高泊公民館による大学見学

開催日：2019年6月27日（木）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：山陽小野田市高泊公民館の方々20名の方が来学されました。河合事務局次長より、本学の概要や近況、地域貢献の取組みについてご説明した後、施設見学では生物系実習室やカフェテリアをご見学いただきました。



(2) 市民団体による大学見学

開催日：2019年9月5日（木）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：市民団体「ネットさんよう」の方々20名の方が来学されました。河合事務局次長より、本学の概要や近況、地域貢献の取組みについてご説明した後、施設見学では生物系実習室やカフェテリアをご見学いただきました。



(3) 公民館等による薬用植物園見学

山陽小野田市内の公民館の方々や市民団体の方々が薬用植物園を見学されました。

開催日	来訪者	会場
2019年5月13日(月)	有帆公民館(22名)	薬用植物園(江汐公園内)
2019年5月20日(月)	青葉の会(15名)	薬用植物園(江汐公園内)
2019年6月11日(火)	厚狭公民館(20名)	薬用植物園(江汐公園内)

(4) 防府市青少年科学館サイエンスアカデミー

開催日：2019年7月31日(水)

場 所：防府市青少年科学館

講 師：「見える？見えない？偏光板の光」

工学部電気工学科 高頭孝毅 教授

内 容：青少年の科学する心を育み、未来への夢や希望を抱かせる体験型学習として、防府市青少年科学館が主催する「サイエンスアカデミー」に、出展し、幼児から中学生までを対象とした科学教室を行いました。

(5) 第10回SOS健康フェスタ

開催日：2019年11月17日(日)

場 所：厚狭地区総合複合施設

主 催：SOSかたつむりで行こう会

担 当：薬学部薬学科 田中宏幸 教授

薬学部薬学科 田村雅史 講師

内 容：SOS(Sanyo Onoda Station)かたつむりで行こう会主催のSOS健康フェスタにおいて、学生ボランティアとともに本学薬学部からブース出展を行いました。

6. 学生による地域貢献

(1) キャンパスクリーンキャンペーン

開催日：2019年6月6日（水）（100名以上）

2019年10月27日（日）（100名以上）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学及び大学周辺通学路

内 容：キャンパスクリーンキャンペーンは、学生・教職員のボランティアによる清掃活動で、「やまぐちの美しい里山・海づくり条例」に基づく環境美化活動促進期間に合わせて行い、環境美化に対する意識をより高める取り組みとして行っています。JR雀田駅から大学までの通学路及び大学の周辺を中心に、ゴミ、タバコの吸い殻、空き缶、雑草等を回収し、回収後はゴミの分別を行いました。



(2) 海岸清掃エコツアー

開催日：2019年5月19日（日）

場 所：長門市内の海岸

内 容：山口県内の海岸の清掃を行う、海岸清掃エコツアーに、本学の工学部、薬学部の学生ボランティア32名が参加しました。この海岸清掃は、山口県内12大学で構成する「山口県エコキャンパス取組推進協議会」が主催したもので、他大学の学生と交流しながら、海岸漂着物の現状を知り、ごみ減量や分別・リサイクルについての理解を深め、環境にやさしいライフスタイルについて考える取り組みです。今年は長門市内の海岸を清掃し、ペットボトルやプラスチックごみ、ビニール袋など漂流ごみを拾い集める海岸清掃の実施とともに、漂着ペットボトルの国別調査やゴミの計量などを行いました。

(3) 西部ふれあい祭り

開催日：2019年5月18日（土）

場 所：竜王山オートキャンプ場（山陽小野田市）

内 容：山陽小野田市の竜王山オートキャンプ場を会場に、西部石油株式会社が主催する「西部ふれあい祭り」に、山陽小野田市立山口東京理科大学ブースを出展しました。当日は自動車部による小型レーシングカーの展示、アプリ開発研究部による自作のアプリ・ゲーム体験を行い、地域の多くの子供たちでにぎわいました。

顧 問：（自動車部）工学部機械工学科 貴島孝雄 教授

（アプリ開発研究部）工学部電気工学科 高頭孝毅 教授

(4) All Tea Garden 部による「かたつむりカフェ」

開催日：2020年2月6日（木）

場 所：きらら交流館

内 容：山陽小野田市が日本一健康なまちづくりをめざして策定した行政と市民の行動計画の一つとして、健康の情報を共有し、交流できる場を提供し、年をとっても、地域社会でいつまでも暮らせる地域包括ケアの一環として取り組んでいる「SOS (Sanyo Onoda Station) かたつむりで行こう会」において、本学クラブ活動団体の茶研究サークル All Tea Garden の学生たちが「かたつむりカフェ」を行いました。カフェでは、地域の皆さまにコーヒーの「マイルドブレンド」とハーブティーの「エキナセア&カモミールブレンド」を提供しました。70名の地域の方々にコーヒー、ハーブティーを楽しんでいただき、フリートークに花を咲かせ、親交を深めました。

顧 問：工学部電気工学科 森田廣 教授

(5) 図書館フェスティバル

開催日：2019年11月24日（日）

場 所：山陽小野田市立中央図書館

内 容：図書館フェスティバルに、本学のクラブ活動団体（4団体）と学生ボランティア（7名）が参加し、ブースの出展やイベントの補助を行いました。HMS（Hand Made Science）は「おもしろ科学大実験」、自動車部は「フォーミュラカー展示」、All Tea Gardenは「コーヒーショップ」、フィルハーモニー交響楽団は演奏で会場を盛り上げました。

顧 問：（All Tea Garden）工学部電気工学科 森田廣 教授

（自動車部）工学部機械工学科 貴島孝雄 教授

（フィルハーモニー交響楽団）共通教育センター 村田貴信 教授

（HMS部）工学部応用化学科 佐伯政俊 講師

(6) 竜王祭

開催日：2019年11月2日（土）・3日（日）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：竜王祭実行委員の学生が企画から運営まで行う竜王祭を開催し、学生や卒業生、地域の方々が大勢集まりました。今年のテーマは「MAKE WITH US」と掲げ、多くの人との関わりを大切に、協力して竜王祭を作り上げるという思いが込められています。模擬店や工作教室、餅まき、ライブなどイベントは多岐にわたりました。また、地域への参加も募り、モダンダンスなど多くの方に参加いただき、声優谷山紀章さんと高橋孝治さんのトークショー、山陽小野田市出身の兄弟デュオ「SORGENTI（ソルジェンティ）」ライブが行われました。



(7) ボードゲーム部と薬用植物愛好会による「スマイルキッズ活動」

開催日：2019年9月21日（土）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：本学のクラブ活動団体であるボードゲーム部と薬用植物愛好会の学生たちが、山陽小野田市子育て総合支援センターと連携し、児童たちとボードゲームを楽しむ「スマイルキッズ活動」に取り組みました。



(8) 住吉まつりでの「龍舞」披露

開催日：2019年5月25日（土）

場 所：住吉神社及び周辺沿道（山陽小野田市東住吉町）

内 容：山陽小野田市住吉地区にて行われる「復活！住吉まつり」において、本学の学生たちが、玉を追いかける龍の様子を模している「龍舞」を披露しました。子どもエリアでは、HMS（Hand Made Science）部が子ども向け科学実験、自動車部は小型レーシングカーの展示、ロボット・メカトロニクス部はワイヤーで作ったコースに電極棒を入れてゴールを目指すイライラ棒ゲーム、ボードゲーム部は子ども向けのボードゲームを担当し、多くの子供たちでにぎわっていました。その他、前夜祭・本祭とも学生有志によるボランティアも参加し、ステージ運営をはじめ様々な形でお手伝いしました。



顧 問：（自動車部）工学部機械工学科 貴島孝雄 教授

（ロボット・メカトロニクス部）工学部機械工学科 池田毅 准教授

（HMS部）工学部応用化学科 佐伯政俊 講師

（ボードゲーム部）工学部応用化学 白石幸英 教授

7. 地域の知を教育に生かす取り組み

(1) 地域卒業研究

工学部の卒業研究において、学生が地域に関する研究テーマに取り組んでいます。

2019年度には次のテーマに取り組みました。本学では、地域に関する卒業研究を奨励しており、地域卒業研究に取り組む研究室には、学長から実験実習費の加算配分を行っています。

研究テーマ	研究室
ポーラス充填管を用いた過熱蒸気急速生成の実証試験	工学部機械工学科 結城研究室
地域ものづくり企業と連携した高熱流束沸騰冷却試験 可能な超小型ヒーターブロックの開発	工学部機械工学科 海野研究室
複合的防災学習モデルに基づくVR防災学習システムの 開発とそのシステムの地域への応用に関する研究	工学部電気工学科 井上研究室
山陽小野田市のデマンド型交通の運行管理者を支援する ソフトウェアの機能強化・追加に関する研究	工学部電気工学科 井上研究室
山陽小野田市を吹く弱風を増幅して発電する新型風力 発電システムの性能向上研究	工学部電気工学科 森田研究室
自立型太陽電池パネル故障診断システムへ応用する 蛇腹型熱電発電素子の設計と作製	工学部電気工学科 阿武研究室
山陽小野田市における大気中粒子状物質分析	工学部応用化学科 白石研究室 共通教育センター 浅野研究室
ユビキタス分析試験紙による山口県の環境分析	工学部応用化学科 白石研究室 共通教育センター 浅野研究室
水素製造に有効な可視光応答型光触媒の開発	工学部応用化学科 池上研究室
多核金属錯体による二酸化炭素固定化技術の開発	工学部応用化学科 太田研究室

(2) リーダーシップ論

地元産業界のリーダーを講師として招き、討論と分析・発表等を行いながら幅広い視野と分析力、意思決定力、問題解決力等を養います。



元山口県副知事
西村 亘 氏



山陽小野田市長
藤田剛二 氏

(3) 地域技術学

地域技術学は、山陽小野田市内の企業が抱える課題について、学生が現地で現物を見ながら現実を学びつつ、ブレインストーミングや KJ 法、SWOT 分析などのツールを駆使して、課題の解決方法を検討し、発表する授業です。社会人基礎力を習得し、就職に強い人材を育成するとともに、地域産業の現状について理解し、さらには地域における課題解決の助力となることを目的としています。2019 年度は宇部フィルム株式会社、大阪新薬株式会社、嶋田工業株式会社、長州産業株式会社、都市産業株式会社、永山酒造合名会社、日鍛バルブ株式会社、株式会社明防にご協力を頂きました。さらに山陽商工会議所の田中剛男会頭に地域産業の抱える課題に関する講演や学生の最終発表への講評を頂きました。



学生による現地視察（永山酒造）



学生による現地視察（都市産業）

(4) 地域産業論

地域産業論は経済・社会・環境・制度の持続可能な発展の 4 本柱から、地域社会における産業の役割を山陽小野田市や山口県の事例から考える授業です。2019 年度は関連する専門知識を有する 10 名の外部講師と企業出身である本学工学部の教授による講義が行われました。



永山酒造の永山社長による講義



山陽小野田市役所の古川副市長による講義

(5) 地域社会学

地域社会学は、学生が山陽小野田市内でフィールドワーク（地域に出て行う調査）を行い、集めたデータを統計的に分析し、地域課題の解決方法を考える授業です。2019 年度には山陽オートレース場、子育て総合支援センター スマイルキッズ、きららガラス未来館で学生がフィールドワークを行いました。分析結果を踏まえ、課題の解決方法をフィールドワーク先の方々に提案しました。



スマイルキッズでのフィールドワーク



きららガラス未来館でのフィールドワーク

(6) 市内企業インターンシップ

山陽小野田市内に立地する企業において、学生のキャリア教育や職業体験を支援するため、市内企業インターンシップに積極的に学生が参加しています。2019 年度は市内企業 8 社に対して 14 名がインターンシップに参加しました。

<市内企業インターンシップ先>

宇部フィルム株式会社／株式会社オーネックス山口工場／化薬ヌーリオン株式会社
厚狭工場／山陽小野田市役所／山陽小野田市立中央図書館／西部石油株式会社山口
製油所／太平洋マテリアル株式会社小野田工場／天馬株式会社山口工場

(7) 市内県内企業見学

(機械工学科)

開催日：2020年1月17日（木）

訪問先：宇部興産株式会社／THK株式会社

内 容：2年生66名が機械工学科のプログラムとして地元企業2社を訪問しました。宇部興産株式会社では、機能性材料等のモノづくりに初めて触れることができたのは勿論のこと、敷地内のバス見学ツアーを通して、宇部興産グループの規模の大きさに圧倒されていました。地元企業のパワーと素晴らしさを知るという意味で非常に良い機会でした。就職活動を意識する学生に対する先輩社員のアドバイスにも非常に重みがあり、将来を考える良いきっかけになったと思います。またTHK株式会社では、地元機械系企業のモノづくりとその魅力を知るという意味で、非常に良い機会となりました。特にモノづくりを支える精密加工の重要性、THK株式会社の特徴であるガイドレールの多岐にわたる応用分野を学ぶことができました。工場内見学時に積極的に質問する学生達を見て、モノづくりの現場を直接見るということが非常に貴重で有意義な経験になることを改めて実感しました。



(電気工学科)

開催日：2019年7月24日（水）

場 所：長州産業株式会社

内 容：3年生53名が、実験科目「電気工学実験Ⅱ」の学外学習として地元企業の長州産業株式会社を訪問し、先進的な太陽光発電システムや水素製造装置を見学しました。会社概要について説明を受けた後に、新進気鋭の若手技術者による「エンジニアの仕事」と題して講義を聴講、会社における研究開発の経験に基づいた学生へのアドバイスをいただきました。その後、会社の主力事業である太陽光発電パネルが完成する工程を見学し、太陽光発電で水から水素を製造し、燃料電池車（FCV）に供給する小型の太陽光水素ステーション「SHiPS」の見学、説明を受けました。



(応用化学科)

開催日：2020年1月21日（火）

訪問先：西部石油株式会社／田辺三菱製薬工場株式会社

内 容：2年生79名が、実験科目「有機化学実験」の学外学習として地元企業の西部石油株式会社と田辺三菱製薬工場株式会社を訪問・見学しました。

西部石油株式会社では、会社の概要説明を受けた後に、バスで敷地内の大きな石油精製装置を見学しました。同時期に選択科目の「有機工業化学」で石油精製を学んでいたため、強く印象に残った学生も多かったと思います。

田辺三菱製薬工場株式会社では、事業所の説明を受けた後に、細心の注意を払って粉体を取り扱うことにより、多様な錠剤ができてくる製造現場を見学しました。



(8) 県内企業インターンシップ

山口県内に立地する企業を対象に、学生のキャリア教育や職業体験を支援するため、県内企業インターンシップに積極的に学生が参加しています。2019年度は県内企業52社に対して86名がインターンシップに参加しました。

(9) ボランティア活動

市内を中心とした行事等に積極的に参加し、地域貢献、地域振興を図ることを通して、社会人基礎力を養うことを目的し、学生へボランティア活動の紹介を行っています。ボランティア活動に参加した学生は、一定の要件を満たす場合は単位の認定を行っています。2019年度には、次のとおり学生ボランティアの活動を行いました。

日程	ボランティアの内容	参加者数
5月25日(土)	第8回復活！住吉まつり	11名
6月1日(土)	2019山陽小野田市環境展	6名
7月14日(日)	やけの美タフェスタ2019	11名
9月23日(月)	小野田ライオンズクラブ主催の献血活動	9名
10月13日(日)	第19回竜王山ウォーク	9名
10月20日(日)	スマイルハロウィンパーティー	103名
11月4日(月)	ジュニア☆カーニバル	10名



(10) 食育セミナー

開催日：2019年12月6日(金)

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

講 師：山陽小野田市食生活改善推進協議会

内 容：学生が健全な学生生活を送ることを目的に、山陽小野田市健康増進課と連携して食育セミナーを行いました。試食も行われ、「朝食をしっかりと食べること」「偏った食べ方をしないでバランスのよく食べること」で健康を維持していくための方法を学びました。



(11) 行政薬剤師体験実習

開催日：2019年6月4日（火）、11日（火）、13日（木）（計3日間）

場 所：山口県庁、葵庁舎、大歳庁舎

内 容：早期体験実習の一環として、行政薬剤師（薬学人）が活躍する医療、保健、衛生、行政の現場を見学し、ディスカッションを行いました。



(12) 県内製薬企業見学会

開催日：2019年9月19日（木）

場 所：協和発酵キリン株式会社宇部工場

内 容：医薬品の製造過程を見学し、医薬品の持つ特性に応じた厳しい製造・品質管理など県内の製薬企業が果たしている役割を学ぶことで、将来の活躍の場の一つである県内の製薬企業について理解・関心を深めることを目的に、見学しました。

(13) 学術と地域文化

薬学部において、地域を理解し、物事を多角的にみる能力を養うことを目的に、外部講師を招聘する学術と地域文化を開講し、あらゆる分野の一線で、また、地域で活躍する人の話を聞き、人文科学、社会科学および自然科学などを広く学びました。2019年度のテーマと講師は次のとおりです。

日付	講師氏名	所属等
4月16日	丸山 克俊	東京理科大学名誉教授 日本スポーツ振興機構専務理事
4月23日	渋谷 英一	陶芸家、御台場窯、萩陶芸協会理事
5月7日	久保久美子	全日本かるた協会 初代永世クイーン八段
5月14日	矢原 正治	山陽小野田市立山口東京理科大学特命教授薬学部附属薬用植物園管理者
5月21日	中原 靖明	一般社団法人山口県薬剤師会 会長
5月28日	高岡 潮理	山陽小野田市高齢福祉課 地域包括支援センター所長
6月4日	西川 慎	ガラス工芸作家、株式会社西川グラスアンドアート代表取締役
6月11日	山本 安彦	山陽小野田市立中央図書館 館長
6月18日	廣田 勝弘	医療生活協同組合健文会生協小野田診療所所長
6月25日	谷澤 幸生	山口大学医学部長病態制御内科学教授
7月2日	國澤 純	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所センター長
7月9日	野村 興兒	学校法人菅原学園至誠館大学学長
7月16日	半矢 幸子	山陽小野田市食生活改善推進協議会会長
7月23日	武田 健	山陽小野田市山口東京理科大学薬学部長教授
7月30日	若山さやか	山陽小野田市立歴史民俗資料館館長
9月24日	嶋田 紀和	山陽小野田語り部の会会長
10月1日	松井 智	須江焼窯元 松井製陶所
10月8日	石川 創	公益財団法人下関海洋科学アカデミー鯨類研究室長
10月15日	古川 裕之	医療安全システムデザイナー
10月29日	池辺 祐介	秋吉台サファリランド園長
11月5日	中島 伸樹	前山口県庁農林水産部職員(獣医職)
11月12日	調 恒明	山口県環境保健センター所長
11月15日	磯部総一郎	前厚生省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課長
11月19日	河村 宜克	山口大学医学部付属病院 先進救急医療センター 助教
11月26日	米田 健治	宇部興産株式会社科学カンパニー医薬事業部医薬研究所
12月3日	津田 和俊	山口情報芸術センター 専門委員(研究員)
12月10日	藤宮 龍也	山口大学大学院医学系研究科法医学講座教授
12月19日	河合 伸也	山陽小野田市立山口東京理科大学特命教授
1月7日	江里 健輔	医療財団法人阿知須同仁病院・顧問、山口県立大学・山口大学名誉教授
1月21日	進藤 英朗	下関市立しものせき水族館海響館展示部展示課獣医師

8. 地方公共団体への貢献

(1) 市長と留学生によるスマイルランチトーク

開催日：2019年11月15日（金）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

講 師：山陽小野田市長 藤田剛二 氏

内 容：市長と本学の学生が、昼食を取りながら意見交換を行うことにより、学生に社会性の涵養や地域貢献活動への意識付けを行うことを目的としている。



(2) スマイルシティ1日市長大学見学会視察

開催日：2019年8月21日（水）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：スマイルシティ山陽小野田1日市長体験事業の一環として、市内の中学1年生6名が「1日市長」として来学されました。この事業は、まちの未来を担う子どもたちに楽しみながら市政への関心と理解を深めていただくことを目的としています。6人の「1日市長」は、理事長室で池北理事長と名刺交換をした後、意見交換しました。また、施設見学では、製造実習室や大学内の薬用植物園をご視察されました。



(3) 山陽小野田市長による特別講義

開催日：2019年10月3日(木)

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

講 師：山陽小野田市長 藤田 剛二 氏

内 容：社会に巣立つ上で必要なリーダー資質を養い、将来像の構築や自身のキャリア開発にもつなげることを目的とした講義「リーダーシップ論」にて藤田剛二市長にご講演いただきました。今回の講義では「リーダーシップと人材育成」をテーマとし、企業経営における人材育成の実例を示しながら、志をもったリーダーに成長するために何が必要かを市長にご講演いただきました。



(4) 市立図書館との相互利用

山陽小野田市立図書館と本学図書館との包括的連携協定に基づき、市民の学習活動に資するため、また研究者や学生の教育、研究及び学習活動に資するため、図書館資料の相互貸借を行っています。2019年度の大学と市立図書館間での相互貸借による利用冊数は21冊です。

市立図書館で直接借りた本を本学の図書館カウンターで返却することができるうえ、市立図書館の本をインターネット予約で借りる際、受渡館に「山陽小野田市立山口東京理科大学図書館」を選択することにより予約した本を本学の図書館カウンターで受け取ることができます。2019年度に返却窓口として利用された本は14冊です。

(5) 図書館フェスティバル

開催日：2019年11月24日（日）

場 所：山陽小野田市立中央図書館

内 容：「第7回図書館フェスティバル」が開催され、本学学生がボランティアとして参加しました。当フェスでは、古本市やコンサート、フラワーアレンジメント、点字体験など、地域の方々が参加して楽しめるイベントが多く催されました。朝は小雨が降り、若干の心配がありましたが、多くの方がご来場くださり、会場は笑顔であふれました。

本学からは、HMS (Hand Made Science)による科学実験を体験できるブースや、ALLTeaGarden(茶研究)によるコーヒー等の販売、自動車部によるフォーミュラカーの展示、フィルハーモニー交響楽団によるコンサートの併せて4団体が参加しました。また、個人として、7名の学生ボランティアが様々なイベントのお手伝いをしました。どのブース・イベントも大盛況で、たくさんの方がご来場くださったおかげか、午後には雨も上がり、爽やかな秋空の下、慌ただしくも充実した一日になりました。

本学は、これからも地域に貢献する大学として、様々な行事に積極的に参加し、地域との絆を強めるとともに、科学の面白さや感動を伝えられるよう努めてまいります。

(6) 江汐公園にある薬学部附属薬用植物園を活用

山陽小野田市が運営する自然公園「江汐公園」内に、薬学部附属の薬用植物園の整備をしています。江汐公園は約138万㎡という広大な公園で、江汐湖を中心とする美しい自然環境に恵まれ、四季折々の花が咲き誇る山陽小野田市の観光名所として市民に親しまれています。このたび整備された、薬学部附属の江汐公園薬用植物園は、3,000㎡の園内に約400種1万株の薬用植物が栽培され、大学構内の薬用植物園とともに学生の教育研究施設として利用するほか、薬草観察会など市民の生涯学習の場としても利用しました。



(7) 各種委員の応嘱（行政関係）

本学における 2019 年度の各種委員の応嘱の状況は次のとおりです。

委員会・審議会	内 容	本学委員
山陽小野田市・山口東京理科大学連携協議会	「山陽小野田市と山口東京理科大学との連携に関する協定書」第4条に基づき、市と大学の人的・知的資源を活用した連携協力事業に関する事項を協議します。	工学部応用化学科 地域連携センター長 北條信 教授
		工学部電気工学科 学生部長 井上啓 教授
山陽小野田市 地方創生協議会委員	山陽小野田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に当たり、まちづくりに関する識見を有する市民等から意見を聴取します。	森田廣 学長
山陽小野田市 都市計画審議会委員	都市計画の内容、都市計画制限、都市計画事業など都市計画に関し必要な事項を定めることにより都市の健全な発展と秩序ある整備を図ります。	森田廣 学長
山陽小野田市 シティセールス推進協議会委員	「活力と笑顔あふれるまち～スマイルシティ山陽小野田～」の実現に向け、シティセールスを推進します。	工学部機械工学科 吉田和司 教授
山陽小野田市 地域公共交通会議委員	地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃・料金等に関する事項など公共公共交通網形成計画について協議します。	工学部電気工学科 井上啓 教授
山陽小野田市 観光関係団体ネットワーク会議委員	山陽小野田市の観光関係団体や事業所のネットワークを構築します。	工学部電気工学科 井上啓 教授
山陽小野田市 教育に関する事務の 管理及び執行の状況 の点検及び評価を行 うにあたっての学識 経験者	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定に基づき、教育に関する事務の点検・評価を行うに当たり、客観性を確保するため教育に関し学識経験を有する方の知見を活用します。	工学部電気工学科 吉岡健 教授
		工学部応用化学科 橋本慎二 教授
		共通教育センター 金田和博 教授
山陽小野田市 図書館協議会委員	山口東京理科大学図書館長に図書館協議会委員を委嘱しています。	工学部応用化学科 図書館長 橋本慎二 教授
山陽小野田市 健康づくり推進協 議会委員	市民の実情に応じた健康づくり施策を推進します。	薬学部薬学科 武田健 教授
山陽小野田市 健康づくりの推進に 関する医療保健専門 職団体プロジェクト 会議	山陽小野田市第 2 次健康増進計画の推進にあたり、健康寿命の延伸を目指すため、医療保健専門職団体等との連携を強化するプロジェクト会議を設置します。	薬学部薬学科 武田健 教授
山陽小野田市 スマイルエイジング 推進本部	第二次総合計画における将来都市像「活力と笑顔あふれるまち」の実現に向けて、スマイルアップを目指す重点施策に「スマイルエイジング」が追加されました。健康寿命の延伸を目指し、笑顔で年を重ねることのできるまちづくりにつながる諸施策を全庁挙げて積極的に推進するため、推進本部を設置します。	薬学部薬学科 武田健 教授
山陽小野田市 食育推進会議	食育基本法に基づき、食育推進計画の作成及びその実施の推進のために設置し、第 2 次山陽小野田市食育推進計画に関して審議します。	薬学部薬学科 立花研 准教授

山陽小野田市 第2次健康増進計画 検討委員会	山陽小野田市第2次健康増進計画の策定にあたり、市民の意見、提言等を反映させるために設置されています。	薬学部薬学科 武田健 教授
山陽小野田市 第2次食育推進計画 検討委員会委員	山陽小野田市第2次健康増進計画の策定にあたり、市民の意見、提言等を反映させるために設置されています。	共通教育センター 浅野比 准教授
山陽小野田市空家等 対策協議会委員	空き家の適正管理や利活用等の空き家対策を推進するため空家対策計画策定の協議を行います。	共通教育センター 金田和博 教授
山陽小野田市 情報公開審査会委員	山陽小野田市情報公開条例の公文書の公開請求の決定又は不作為に係る審査請求について審議し、答申します。	共通教育センター 村田貴信 教授
山陽小野田市 個人情報保護審査委 員会委員	個人情報の開示若しくは訂正等の決定又は不作為に対する審査請求について審議し、実施機関から求められた事項について意見を述べます。	薬学部薬学科 稲見圭子 教授
山陽小野田市 男女共同参画審議会 委員	男女共同参画の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な計画の策定及び変更に関するもののほか、男女共同参画の推進に関する施策の基本的及び重要事項について審査審議します。	共通教育センター 池田容子 准教授
山陽小野田市英語教 育推進事業委員	市内の英語教育推進に関わる小・中学校教員、ALT、英語教育推進教員が出席し、英語教育の現状について協議します。	共通教育センター 池田容子 准教授
山陽小野田市 かるた振興委員会委 員	山陽小野田市の特色ある文化のひとつである「小倉百人一首かるた」の普及振興に積極的に取り組み、芸術文化によるまちづくりを推進します。	薬学部薬学科 坂井久美子 講師
山陽小野田市 高齢者保健福祉推進 会議委員	高齢者の保健福祉環境づくりの総合的、かつ、計画的な推進に関する事項について調査し、審議します。	薬学部薬学科 坂井久美子 講師
山陽小野田市 本山公民館 「成人教養講座」講 師	地域住民が心身ともに健康で元気に生活することができるように開催する講座にて「小泉八雲の世界」をテーマに講演を行いました。	共通教育センター 風早悟史 講師
山陽小野田市立 小野田中学校 学校運営協議会委員	地域のネットワークを形成し学校・家庭・地域が連携・協働することにより社会総がかりで小中9年間の子供たちの学び育ちを見守り支援します。	共通教育センター 内田陽三 教授
山口県立 豊浦高等学校 学校運営協議会委員	保護者及び地域の学校運営への参画促進や連携強化を進め、一体となって学校運営の改善や生徒の健全育成に取り組み、地域とともにある学校づくりを推進します。	森田廣 学長
山口県立 下関中等教育学校 学校運営協議会委員	学校運営協議会に出席し、学校運営に関する事項について協議し、意見を述べました。主な協議内容は、教育活動と高大連携事業の取組でした。	工学部応用化学科 井口眞 教授
山口県立 厚狭高等学校 学校運営協議会委員	学校を核とした人づくり・地域づくりに向けて学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールの体制を整えます。	池北雅彦 理事長 工学部応用化学科 橋本慎二 教授
山口県立 小野田工業高等学校 学校運営協議会委員	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6第2項及び学校運営協議会の設置等に関する規則第2条第2項の規定により、学校運営協議会を設置します。	共通教育センター 吉村高男 教授

山口県 環境やまぐち推進会議 次世代自動車利活用部会委員	産学官連携による運輸部門のCO2削減を目指し、次世代自動車の普及・利活用の促進のため、情報共有や事業化検討を実施します。	工学部機械工学科 貴島孝雄 教授
山口県 環境やまぐち推進会議 EV利活用モニター事業プロジェクトチーム	一人乗り電気自動車や電動バイクの普及について、事業の進行に係る助言・指導を行います。	工学部機械工学科 貴島孝雄 教授
山口県 環境やまぐち推進会議 電気自動車中古バッテリーリユース実証試験プロジェクトチーム	電気自動車の使用済みバッテリーのリユースにかかる助言・指導を行います。	工学部機械工学科 貴島孝雄 教授
山口県 やまぐちバイオ関連産業推進協議会幹事	新たな可能性を拓くバイオ関連産業イノベーションの創出のため企業、大学、産業支援機関等が連携した全県的なネットワーク組織として設置されています。	薬学部薬学科 武田健 教授
山口県 自動車産業イノベーション推進会議	「100年に一度」といわれる自動車産業の構造・技術変革に対応するため、山口県内の企業や団体が結集して、新たなオープンイノベーションの推進プラットフォームとなる産学公金連携組織として設置します。	工学部機械工学科 吉村敏彦 教授
山口県 やまぐち医療関連成長戦略推進協議会幹事	山口県の医療関連産業の育成・集積を図るための全県的推進体制として、諸般の取組を推進します。	薬学部薬学科 武田健 教授
山口県 薬物乱用防止推進員 宇部地区協議会	宇部地区の薬物乱用防止推進員を対象に研修会を行い、より実践的な活動につなげます。	薬学部薬学科 和田光弘 教授
宇部市 宇部志立市民大学 環境・アート学部講師	宇部市の地域や団体に活躍できる次世代を担う人材の発掘・育成を目指す活動として、「愛とは？」をテーマに環境・アート学部の講義を行いました。	共通教育センター 池田容子 准教授
長門市文化財保護審議会委員	長門市の区域内に存するすべての文化財の保存及び活用に関し、教育委員会の諮問に応じて、必要な調査及び審議を行います。	共通教育センター 吉村高男 教授
前橋市立駒形小学校 講演会講師	「南極の氷が語る地球環境～南極昭和基地での研究や生活について～」をテーマに、5・6年児童、PTA会員を対象とした講演を行いました。	共通教育センター 浅野比 准教授

(8) 住まいる奨励金

山陽小野田市は、市内に住民票がある新入学生を対象に、3万円を上限に市内の協力店約240店舗で利用できる経済的助成制度として「住まいる奨励金」を創設しました。本学では、学生に周知を行うとともに、奨励金の申請受付及び学生への給付を行いました。



山陽小野田市「住まいる奨励金」

9. 警察署・消防署との連携

(1) 学生消防団員

内 容：2019年度は12名の学生に学生消防団員の辞令が交付されました。高齢化などで定員割れが続く消防団の活動を若い力で活性化させようと、消防団員の任用資格を市内に通学する学生も対象とすることに変更し、本学で学生消防団員を募り、学生消防団員として阿部消防団長より辞令を受けました。

(2) 交通安全ガイダンス

開催日：2019年4月10日（水）・9月20日（金）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

講 師：山陽小野田警察署

内 容：山陽小野田警察署から講師を招き「交通安全ガイダンス」を開講しました。ガイダンスでは、運転者としての心構えや飲酒運転の危険性、交通ルールを守ることの大切さなどを教えていただきました。自転車及び自動車を運転するときは「危険が潜んでいるかもしれない」という意識のもと安全運転を心がけることを教えていただきました。

(3) 交通安全講習会・薬物防止講習会

開催日：2019年4月10日（水）・9月20日（金）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

講 師：山陽小野田警察署

内 容：山陽小野田警察署から講師を招き「交通安全講習会」と「薬物防止講習会」を開講しました。これは、秋の全国交通安全運動に合わせて、学内の交通安全意識を高めるとともに学生が安全安心な学生生活を送るための指導を目的として開催しました。交通安全講習会では、自転車の通行に関する規則や「ながら運転」の危険性、夜間における反射材の使用等について説明いただきました。また、飲酒が人間の行動にもたらす影響について、飲酒状態を疑似体験できるゴーグルを用いて学ぶことができました。引き続き実施した「薬物防止講習会」では、違法薬物の恐ろしさを学びました。

(4) 防災訓練

開催日：2019年10月3日（木）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

講 師：宇部・山陽小野田消防局、山陽小野田市、山口防災工業株式会社

内 容：宇部・山陽小野田消防局、山陽小野田市、山口防災工業株式会社の協力のもと、防災訓練を行いました。はじめに山陽小野田市役所の方から災害時の避難行動について講演いただいた後、自衛消防隊を発動させ、火災時を想定した避難訓練を行いました。その他、消火機器の操作方法を実習し、防火扉・シャッターの開閉確認、AED（自動体外式除細動器）の講習会を行いました。



10. その他の取り組み

(1) 各種委員の応嘱（行政関係以外）

本学における 2019 年度の非常勤講師・役員の応嘱の状況は次のとおりです。

氏名	従事先	従事内容
池北雅彦 理事長	千葉県立柏高等学校	スーパーサイエンスハイスクール運営指導協議員
工学部機械工学科 貴島孝雄 教授	一般社団法人山口県安全運転管理者協議会	安全運転管理者等講習講師
工学部機械工学科 結城和久 教授	一般社団法人日本機械設計工業会	機械設計技術者試験会場副責任者
工学部機械工学科 吉田和司 教授	一般社団法人日本機械学会	「柔軟媒体ハンドリング技術の理論の技術と応用」出版分科会委員
工学部機械工学科 吉田和司 教授	一般社団法人日本機械学会	情報・知能・精密機器部門所属研究分科会「フレキシブル体のハンドリングと高機能化技術(1)」
工学部機械工学科 吉田和司 教授	一般社団法人日本機械学会	情報知能精密機器部門事業委員会委員長
工学部機械工学科 吉田和司 教授	一般社団法人日本機械学会	JABEE 事業委員会委員
工学部電気工学科 阿武宏明 教授	一般社団法人日本熱電学会	第3期理事
工学部電気工学科 井上啓 教授	一般社団法人日本応用数理学会	代表会員
工学部電気工学科 高頭孝毅 教授	公益財団法人やまぐち産業振興財団	理事
工学部電気工学科 高頭孝毅 教授	Shenzhen PolyMater Tech Co.Ltd.	顧問 (Consultant)
工学部電気工学科 高頭孝毅 教授	公益財団法人防府市文化振興財団	「サイエンスアカデミー2019」講師
工学部応用化学科 石川敏弘 教授	山口県立宇部高等学校	スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員
工学部応用化学科 石川敏弘 教授	山口県立下関西高等学校	スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員
工学部応用化学科 石川敏弘 教授	一般社団法人日本ファインセラミックス協会	選考委員会 (表彰) 委員長
工学部応用化学科 石川敏弘 教授	公益財団法人宇部興産学術振興財団	評議員
工学部応用化学科 井口眞 教授	公益社団法人日本化学会	中国四国支部 代表正会員
工学部応用化学科 白石幸英 教授	山口県立小野田高等学校	学校運営協議会 委員
工学部応用化学科 池上啓太 准教授	一般社団法人触媒学会	西日本支部幹事
工学部機械工学科 海野徳幸 講師	一般社団法人日本機械学会	中国四国支部 第59期 (2020年度) 商議員
薬学部薬学科 稲見圭子 教授	厚生労働省労働基準局	変異原性試験棟結果検討委員候補者
薬学部薬学科 牛島健太郎 教授	一般社団法人日本臨床薬理学会	第26回「臨床薬理学講習会」座長

薬学部薬学科 牛島健太郎 教授	エーザイ株式会社	講師（肝癌薬物療法セミナー）
薬学部薬学科 牛島健太郎 教授	一般社団法人福岡市薬剤師会	講師（Basic Study 研修会～基礎からわかる！時間薬理学～）
薬学部薬学科 緒方浩二 教授	国立研究開発法人理化学研究所 情報システム本部	客員研究員
薬学部薬学科 緒方浩二 教授	国立研究開発法人理化学研究所 科技ハブ産連本部 バトンゾーン 研究推進プログラム	客員研究員
薬学部薬学科 黒川陽介 教授	一般社団法人山口県薬剤師会	倫理審査委員会委員
薬学部薬学科 嶋本顕 教授	日本組織培養学会	講師（細胞培養基盤技術コース）
薬学部薬学科 武田健 教授	学校法人昭和薬科大学	評議員
薬学部薬学科 武田健 教授	一般財団法人日本自動車研究所	「自動車排出ガスの健康影響研究に関する専門委員会」委員
薬学部薬学科 武田健 教授	特定非営利活動法人薬学共用試験センター	財務委員会委員
薬学部薬学科 田中宏幸 教授	独立行政法人日本学術振興会	特別研究員等審査会専門委員
薬学部薬学科 田中宏幸 教授	独立行政法人日本学術振興会	卓越研究員候補者選考委員会書面審査員
薬学部薬学科 田中宏幸 教授	独立行政法人日本学術振興会	国際事業委員会書面審査員・書面評価員
薬学部薬学科 望月正隆 教授	国立医薬品食品衛生研究所	利益相反委員会委員
薬学部薬学科 望月正隆 教授	厚生労働省医薬・生活衛生局	厚生労働科学研究費「医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス制作事業」中間・事後評価委員会委員
薬学部薬学科 望月正隆 教授	国立医薬品食品衛生研究所	部長等選考委員会委員
薬学部薬学科 望月正隆 教授	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	AMED 課題評価委員
薬学部薬学科 望月正隆 教授	一般社団法人薬学教育評価機構	総合評価評議会評議員
薬学部薬学科 望月正隆 教授	東京理科大学	自己点検・評価実施委員会委員
薬学部薬学科 望月正隆 教授	公益社団法人薬剤師認定制度認証機構	理事
薬学部薬学科 望月正隆 教授	薬学教育協議会	業務執行理事
薬学部薬学科 望月正隆 教授	薬学教育評価機構総合評価評議会	副議長
薬学部薬学科 望月正隆 教授	薬学教養試験センター	運営委員会委員
薬学部薬学科 望月正隆 教授	昭和大学医学教育振興財団	評議員
薬学部薬学科 望月正隆 教授	乙卯研究所	評議員
薬学部薬学科 望月正隆 教授	一般財団法人日本医薬情報センター（JAPIC）	評議員

薬学部薬学科 和田光弘 教授	公益社団法人日本薬剤師会	第52回薬剤師会学術大会（山口大会）に係るポスター優秀賞 審査委員会委員
薬学部薬学科 和田光弘 教授	公益社団法人日本薬学会	学術誌編集委員
薬学部薬学科 立花研 准教授	総務省生体電磁環境研究 「電波の生態影響評価に必要な研 究手法標準化に関する調査・研 究」	「電磁環境の安全性評価に関わ る研究手法国際標準化検討会」 委員
薬学部薬学科 立花研 准教授	公益社団法人日本薬学会 環境・衛生部会	総務委員会委員
薬学部薬学科 立花研 准教授	一般社団法人日本毒性学会	編集委員会委員
薬学部薬学科 畠山允 講師	国立研究開発法人理化学研究所 科技ハブ産連本部 バトンゾーン 研究推進プログラム	客員研究員
薬学部薬学科 堀口道子 講師	一般社団法人福岡市薬剤師会	講師（Basic Study 研修会～基 礎からわかる！時間薬理学～）
薬学部薬学科 坂井久美子 講師	中外製薬株式会社	がん治療における患者支援のた めの SP 参加型ワークショップ グループワーク進行司会
薬学部薬学科 楠瀬直喜 助教	大塚眼科	役員
共通教育センター 金田和博 教授	公益社団法人日本技術士会	中国本部応用物理学部会幹事
共通教育センター 金田和博 教授	理窓技術士会	運営委員会委員
共通教育センター 金田和博 教授	一般社団法人技術士 PL センター	正員
共通教育センター 浅野比 准教授	公益社団法人日本分析化学会	分析化学編集委員
共通教育センター 浅野比 准教授	一般社団法人日本鉄鋼協会	評価分析解析部会 フォーラム研究会 講師
共通教育センター 風早悟史 講師	八雲会	記念講演会「小泉八雲邦訳史 日本時代の作品を中心に」
共通教育センター 中村洋 講師	一般財団法人地球・人間環境フォ ーラム	フェロー
共通教育センター 中村洋 講師	環境首都創造 NGO 全国ネットワ ーク	環境首都コンテスト全国ネット ワーク「地域住民等主導の「気 候変動適応の共創プログラム」 の開発試行と、実践普及のため の体制構築」プロジェクト 専 門家

(2) 非常勤講師・役員の応嘱（行政関係以外）

本学における 2019 年度の非常勤講師・役員の応嘱の状況は次のとおりです。

氏名	従事先	従事内容
工学部機械工学科 永田寅臣 教授	岡山大学	非常勤講師（機械システム工学セミナーⅠ）
工学部機械工学科 吉田和司 教授	中央大学	兼任講師（情報機器）
工学部応用化学科 石川敏弘 教授	東京理科大学	客員教授（研究推進機構総合研究院 先進複合材料・構造 CAE 研究部門）
工学部応用化学科 太田雄大 准教授	筑波大学	非常勤講師（無機・分析化学特論Ⅱ）
薬学部薬学科 牛島健太郎 教授	自治医科大学	非常勤講師（臨床薬物動態学Ⅰ、Ⅱ）
薬学部薬学科 牛島健太郎 教授	九大薬友会関西支部	第35回総会 講師
薬学部薬学科 牛島健太郎 教授	新潟柔整専門学校	講師（柔整総合演習Ⅳ、Ⅴ）
薬学部薬学科 緒方浩二 教授	北里大学	講師（理学特別講義）
薬学部薬学科 緒方浩二 教授	東京薬科大学	非常勤講師（計算科学）
薬学部薬学科 篠原久明 教授	広島大学大学院医系科学研究科 医学系分野・免疫学	客員教授（生体反応学）
薬学部薬学科 篠原久明 教授	理化学研究所 生命科学センター	客員研究員
薬学部薬学科 篠原久明 教授	東京医科歯科大学 難治疾患 研究所・医科学数理分野	非常勤講師（疾患オミックス情報学特論）
薬学部薬学科 嶋本顕 教授	広島大学	客員教授（医歯薬保(歯)口腔生物工学)
薬学部薬学科 田中宏幸 教授	九州大学	非常勤講師（生薬学 A）
薬学部薬学科 百溪江 教授	山口大学	非常勤講師（ライフサイエンス展開科目） 【創成科学研究科】
薬学部薬学科 伊豫田拓也 准教授	東京理科大学	客員准教授 （研究推進機構総合研究院 再生医療 と DDS の融合研究部門）
薬学部薬学科 伊豫田拓也 准教授	東京理科大学	客員准教授 （研究推進機構総合研究院 核酸創薬 研究部門）
薬学部薬学科 川上広宣 准教授	九州大学	客員研究員（大学院薬学研究院）
薬学部薬学科 川上広宣 准教授	九州大学	学位論文調査委員副査（大学院薬学 府）
薬学部薬学科 沖田直之 講師	東京理科大学	客員研究員 （研究推進機構総合研究院 核酸創薬 研究部門）
薬学部薬学科 沖田直之 講師	東京理科大学	客員研究員（薬学部）
薬学部薬学科 堀口道子 講師	名古屋大学	講師（基礎医学特論）
薬学部薬学科 楠瀬直喜 助教	九州大学	客員研究員（大学院薬学研究院薬剤学 分野）
薬学部薬学科 鶴留優也 助教	九州大学	客員研究員（大学院薬学研究院薬剤学 分野）

共通教育センター 堤千佳子 教授	山口大学	非常勤講師（英語会話）
共通教育センター 堤千佳子 教授	山口県立大学	非常勤講師（アメリカ文学講読）
共通教育センター 村田貴信 教授	宇部フロンティア大学	非常勤講師（哲学）
共通教育センター 浅野 比 准教授	東京理科大学	客員研究員 （総合研究院 大気科学研究部門）
共通教育センター 浅野 比 准教授	下関市立大学	非常勤講師（アカデミックリテラシー パソコン実習）
共通教育センター 笠置映寛 准教授	広島大学	客員准教授（物理教材内容論Ⅰ）
共通教育センター 木村良一 准教授	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所	客員准教授（創薬に繋げる実験動物の 脳機能イメージング法開発）
共通教育センター 中村洋 講師	早稲田大学	招聘研究員（総合研究機構 教師教育 研究所）
共通教育センター 福田みのり 准教授	山口コ・メディカル学院	非常勤講師（人間発達学）
共通教育センター 福田みのり 准教授	鹿児島純心女子大学	非常勤講師（教育・学校心理学）
共通教育センター 大庭尚子 講師	徳山大学	非常勤講師（ダンスⅠ、ダンスⅡ、エ アロビック運動）

(3) 山口県病院薬剤師会との連携協定締結

開催日：2019年8月1日（木）

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：本学と、山口県病院薬剤師会は、知的・人的資源の交流及び活用を図り、地域の健康・医療・福祉の発展に寄与することを目的として、包括連携・協力に関する協定を締結し、8月1日（木）に協定調印式を本学で執り行いました。立会人として、臨席された山陽小野田市の藤田剛二市長から「健康寿命の延伸については『スマイルエイジング』として山口東京理科大学とも進めている大きなテーマであり、この連携によりさらに進展するのではないかと期待している」と祝辞をいただき、同じく立会人として臨席された山口県の中野恵健康福祉部長からは「やまぐち維新プランにおいて医療体制の充実を進めており、着実にやっていくには両組織の協力が不可欠である」との祝辞をいただきました。



(4) 宇部興産株式会社と包括的連携基本合意書を締結

開催日：2019年11月18日(火)

場 所：山陽小野田市立山口東京理科大学

内 容：本学と宇部興産株式会社は、互いに協力して取り組むべき新たな技術の研究開発ならびに人的交流を進めることを目的として、包括的連携基本合意書を締結し、2019年11月18日(火)に調印式を本学で執り行いました。立会人として臨席された山陽小野田市の藤田剛二市長から「宇部興産様は卓越した事業展開力、研究開発力を誇り、山口東京理科大学は多様な人材と、豊富な知的財産を有する。その両者が結んだ本合意書により、今後更なる新技術開発の推進と研究者育成に期待する。」と祝辞をいただきました。



11. 地域からの入学

(1) 地域推薦入試

入学者に占める山口県内出身者の比率を高めるために、推薦入試では山口県内の高等学校等出身者を対象とする「地域推薦入試」を採用し、工学部では入学定員の23%、薬学部では入学定員の25%を地域推薦の募集人員に設定しています。

2020年度の入学者選抜区分と募集人員は以下の表のとおりです。

(単位：人)

学部	入学定員	入学者選抜区分と募集人員					
		地域推薦					一般選抜 その他
		市内枠	県内枠	指定校	計	割合	
工学部	200	13	33	-	46	23.0%	154
薬学部	120	5	20	5	30	25.0%	90
計	320	18	53	5	76	23.8%	244

(2) 入学者に占める山口県出身者（学部）

2020年度の入学者329人のうち、山口県内出身者は92人と、入学者全体の28.0%となりました。

(単位：人)

学部	入学者数	山口県内出身者		山陽小野田市出身者	
		人数	割合	人数	割合
工学部	208	59	28.4%	7	3.4%
薬学部	121	33	27.3%	4	3.3%
計	329	92	28.0%	11	3.3%

12. 地域への人材輩出

大学院進学者を除く 2019 年度卒業生数は、工学部が 190 名、大学院（修士課程）が 11 名で、このうち山口県内への就職者は 70 名（就職者の約 37 %）となっています。

また、山口県出身者の山口県内就職率は、約 57 %となっています。

山口県内の主な就職先は、製造業、建設業です。

(単位：人)

	就職者	山口県内就職者		山陽小野田市内就職者	
		人数	割合	人数	割合
工学部	179	67	37.4%	18	10.1%
大学院 (修士課程)	11	3	27.3%	0	-
計	190	70	36.8%	18	9.5%

※山口県内企業は県内に本社又は事業所がある企業を含む

※山陽小野田市内企業は市内に本社又は事業所がある企業を含む

13. 地域への経済波及効果

山口東京理科大学が立地することによる地域への経済波及効果（2019 年度）

	山口県への経済波及効果	山陽小野田市への経済波及効果
直接効果	23.9 億円	14.5 億円
生産誘発額	20.4 億円	12.3 億円
付加価値誘発額	12.4 億円	7.5 億円
総合効果	56.7 億円	34.3 億円

14. 市内人口の約 49 人に 1 人が理科大生

令和 2 年 5 月 1 日現在の、山陽小野田市の人口 61,862 人に対し、山陽小野田市立山口東京理科大学の学生数は 1,267 人（学部 1,227 人、大学院 40 人）と、市内人口の約 49 人に 1 人が理科大生となります。

公立大学法人 山陽小野田市立山口東京理科大学
〒756-0884 山口県山陽小野田市大学通1-1-1
TEL: 0836-88-3500 (代表)



公立大学法人 山陽小野田市立
山口東京理科大学
Sanyo-Onoda City University